

キャンパス点描

「国際規格のFD 戦略」 事業

「Faculty Development のための教育・研究・サービス活動業績記録 (アカデミック・ポートフォリオ) の作成術」 セミナーを開催

お茶の水女子大学では、特別教育研究経費で採択され、国際規格のFD 戦略事業の一環として「Faculty Development のための教育・研究・サービス活動業績記録 (アカデミック・ポートフォリオ) の作成術」を1月5、7日の2日間、国際的に著名なFDの専門家であるピーター・セルディン氏とJ.エリザベス・ミラー氏を米国から招聘し開催しました。これは、同大学の教育目標である「幅広い基礎教養 (リベラルアーツ) と高度な専門性を身に付けた女性リーダーの育成」に沿った教育の質を保証するため、国際的に通用する教育能力の向上 (国際規格のFD) を目的としています。近年、アメリカお

よび他の多くの国々の高等教育界において、教員は自分の職務業績について説明責任を負うようになり、このアカデミック・ポートフォリオの効果的な作成方法を含む、高等教育の問題に関するコンサルタントをピーター・セルディン氏は全米および世界 45 カ国の 350 を超える大学で努めてきたFDの専門家です。

今回のセミナーは、第1部 研究・サービス活動業績記録の作成方法、第2部 教育活動業績記録の作成方法と教育改善活動のワークショップ・講演の2部構成で2日間にわたって行われ、他大学教職員等も含め延べ 130 名が参加しました。



ピーター・セルディン氏



J.エリザベス・ミラー氏

21世紀型文理融合リベラルアーツの創生と展開事業

第3回学生と教員でつくる文理融合リベラルアーツ

FDフォーラムを開催

1月20日、「第3回学生と教員でつくる文理融合リベラルアーツFDフォーラム」が開催されました。2008年度より開始された「21世紀型文理融合リベラルアーツ科目群」について、今年度は5系列すべての授業が開講されたことをうけて、実際に授業を受講した学生に意見・感想、そして提案を述べてもらい、同時に系列代表の教員から、科目群の提供目的などを明確に提示しようという試みです。登壇した9名の学生たちは、それぞれ、配付資料やPPT資料を駆使しながら、自分の受講体験とそこから得たもの、一方でこの科目群の問題点や課題等について、具体的な発言を行いました。

5系列代表の教員による説明のあと、学生・教員間での質疑応答や討論が行われました。学生からは、時間

割や開講期など、運用上の問題についての指摘に加え、系列として受講することの意義が不明瞭といった今後の課題が示唆される一方、ふだんは同席することの少ない文系・理系の学生が同じ科目を受講することで、相互のインタラクションが生まれ、そのことによって新しい発見や考察の方法を得ることができた、という本科目群の意義が述べられました。本科目群の目的のひとつは、自ら考察を深めそれを発信する能力を養うことですが、登壇してくれた学生たちの姿それ自体が、本科目群の成果を証するものであったと言えます。来年度から本科目群は第二ステージに入りますが、今回の討論を生かし、さらに学生たちにとって魅力ある授業になるよう、努力が重ねられることでしょう。

「図書館総合展／学術情報オープンサミット2009」の ポスターセッションで最優秀賞を受賞

お茶の水女子大学附属図書館は、2009年11月10日～12日にパシフィコ横浜を会場として開催された「第11回図書館総合展／学術情報オープンサミット2009」（3日間の来場者数24,500人）のポスターセッションに参加しました。

今回のポスターセッションには、団体、個人を含めて、約50点が展示されていましたが、会期中の来場者投票による集計の結果、お茶の水女子大学附属図書館のポスター『壁を壊した図書館 ～お茶大図書館活性化のヒ・ミ・ツ～』が、最優秀賞に選ばれました。

●「壁を壊した図書館 ～お茶大図書館活性化のヒ・ミ・ツ～」
お茶大図書館が「壁を壊して」作ったのは、ラーニング・コモンズやカフェだけではなく、

前例や体制の壁など様々な「壁を蹴飛ばして」、学生ILLの無料化、学生協働のLiSA インターンシッププログラムなど、次々と新たなことにチャレンジしています。

利用者の気持ちにいちばん敏感なのは、現場に立つスタッフです。

全てのスタッフが利用者の気持ちに敏感になること。スタッフが元気で前向きであること。やってみたいと思ったことにすばやく、楽しく取り組めること。それが「壁を壊した」お茶大図書館活性化のいちばんのポイントです。

今回のポスターでは、そんなスタッフたち、それぞれの「私の自慢」にご注目ください



ポスターセッションで紹介されたポスターはこちら

http://www.lib.ocha.ac.jp/topics/2009/toshokan_sougouten_091116.html

TeaPot が機関リポジトリ・ランキングにて国内3位（世界52位）

本学の機関リポジトリ (TeaPot) が、スペインの研究機関 Consejo Superior de Investigaciones Científicas (CSIC) が発表した世界のリポジトリ・ランキング (2009年7月) にて、国内で3位 (世界で52位) となりました。

このランキングは、CSIC が Open Access の促進をサポートするために行っているもので、検索エンジンによる評価やリポジトリへの外部リンク数など4つの項目により順位を決定しています。本学は、検索エンジンでの HIT 数や登録してある PDF ファイル数が評価され、

国内では京都大学、九州大学に続く第3位、世界で52位となりました。

TeaPot の登録件数は日々増加しています。皆様のご活用をお待ちしております。

TeaPot

<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/>

キャンパス点描